

立山砂防シンポジウム 開催概要
 ー日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産にー
 世界遺産登録推進シンポジウム 2018

1 開催趣旨

富山県は、関係機関や民間団体等と連携協力しながら、富山県が世界に誇る防災遺産である、立山砂防の歴史的砂防施設群の世界文化遺産登録を目指しています。10月1日から開催された国際防災学会インタープリメント2018に先立ち開催した本シンポジウムでは、世界遺産の最前線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッション等をおして、立山砂防の価値と魅力を広く世界に発信しました。

2 概要

- (1) 日 時 平成30年9月30日(日) 13:30~17:00
 (2) 会 場 富山国際会議場メインホール(富山市大手町1-2)
 (3) 参加者 約500名
 (4) プログラム

13:30~	■挨拶 開会挨拶 石井 隆一 富山県知事 来賓挨拶 国土交通省水管理・国土保全局砂防部長 栗原 淳一氏	
13:45~	■講演1 「わが国防災遺産の系譜と立山砂防」 東京文化財研究所近代文化遺産研究室長 北河 大次郎氏	
14:25~	■講演2 「自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防」 富山県知事 石井 隆一	
15:05~	■映像上映 アニメ「立山砂防・土砂との闘い」(英語字幕付き)	
15:30~	■パネルディスカッション コーディネーター 西村 幸夫氏(日本イコモス国内委員会委員長) パネリスト アンドレアス・ゲッツ氏(元スイス環境庁次官)、郭 旃氏(元イコモス副会長)、クルト・ローナー氏(インタープリメント会長)、松浦 晃一郎氏(第8代ユネスコ事務局長)、北河氏、石井知事	
	講演1 (北河氏)	講演2 (石井知事)
	パネルディスカッション	パネルディスカッション
	会場の様子	

- (5) 主 催 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会
 (事務局:富山県総合政策局企画調整室、土木部砂防課、教育委員会生涯学習・文化財室)

3 シンポジウムで提示された課題や今後の取組み

- (1) 海外の有識者に対する立山砂防の価値・魅力の積極的な情報発信…イコモス年次総会での発表、英語版ホームページでの情報発信など
 (2) 県民への一層の普及啓発と次世代を担う若者へのアピール…ユースプログラムの継続など
 (3) 20世紀遺産20選での選定結果(3番目で選定)の世界遺産登録への活用…県民を対象としたシンポジウムの開催など